

大地のめぐみ、いたたきます。

真野小学校四年 薄木 美咲

「みさちゃん、朝だよ。起きよう。」

私の目さまし時計が、いつもより早く鳴り出します。そうです。今日はおべん当を作るために、早めにセツトしたのです。元気に飛び起きました。今年から、休みの日にはときどき私と姉と弟といっしょに、お父さんのおべん当を作っています。三日位前から絵をかいたり、本を見たりして計画を立てている時

ら、わくわくして楽しい気持ちになります。

おべん当作りは、前日の夜のお米ときから始まります。お米ときは、一年生の時からやっているのかん単です。

おべん当のメインは、やっぱりご飯と玉子

焼きです。私のお父さんは、消ぼう署に一つとめていて、たくさん動いて体カ勝負なので、お米パワ―が必要なのです。消ぼう署には売店がないので、

「持って行って買った物しか食べられないから、ご

飯をたくさん入れてね。

とお母さんが教えてくれました。今までにのりまきやおにぎり、のりべんで顔をかいたこともあります。のりまきは、す飯を作った。中にまく具をじゅんびしたりするのは大変だけれど、まきすを使ってくるくるまいて切る時はみんながションとなつて、どきどきします。弟が、

「味見！味見！」

と、言うので、はしこをみんなで食べると、

おいしくて作つてよかったという気持ちになります。玉子焼きも上手に焼けて、ほめられました。サラダやデザートまで用意します。つめる時もきれいに見えるか考えながらつめます。私がお昼ご飯を食べるころ、お父さんがおべん当のふたを開けて、よろこんでいる顔が頭にうかんできて、うれしくなります。

私の家では、お米も作っています。今年の一学期の終業式の日、佐渡では、五十年ぶりの記録的な大雨になり、おばあちゃんが田ん

ほを心配して、雨の中田んぼを見に行きました。私の家は、ひ害がなく、よか？たけれど、近くの田んぼは、上三だんから下までどろどろと水で川のようになっているのを初めて見て、とてもこわくなりました。大きな石も流れてきて、元にもどすには、時間やお金、人の手がたくさん必要だと聞きました。テレビのニュースでも放送されていていました。自然が相手だと大変なことがたくさんあるけれど、また米作りができるようになるといいなと思います。

した。

食べるとパワーが出るお米。学校の給食でも佐渡さん米が出ます。いつまでも安心安全な米作りをしよう、農家の人が続けています。そのお米のパワーでおいしいお弁当を作ってみんなによるこんでもらいたいです。